

キク科・マメ科雑草から愛する芝地を守るのはこの私だ。

グリーンキーパー

司令官GK、出動命令を待っている。

土壌処理 + 茎葉処理
一度にできる



ターザイン Turzine™ Pro DF

ターゲット
キク科・マメ科
幅広い広葉雑草



ターザイン™プロDF

- 適用芝 日本芝・西洋芝
- 特徴
- ・土壌処理と茎葉処理が一度にできる優れたもの
 - ・幅広い散布適期。低薬量でも優れた効果。効き目も長い
 - ・低温期散布でも優れた効果
- 種類名 イソキサベン・フロラスラム水和剤



DOW

Dow AgroSciences

Solutions for the Growing World

ターザイン™プロDF

農林水産省登録:第21088号

種類名:イソキサベン・フロラスラム水和剤

- キク科・マメ科雑草対策におすすめ
- 土壌処理と茎葉処理が一度にできる優れたもの
- 幅広い散布適期。低薬量でも優れた効果。効き目も長い
- 低温期散布でも優れた効果
- 日本芝・西洋芝どちらにもOK

- 有効成分:イソキサベン…60.0% フロラスラム…4.0%
- その他の成分:鉱物質微粉、界面活性剤等…36.0%
- 性状:類白色水和性細粒
- 有効期限:3年
- 包装:100g×20袋



イソキサベンは、土壌処理により雑草種子の発芽時に幼根の生長点を阻害し枯死に至らせ、優れた残効性を示します。フロラスラムは、茎葉処理により植物体内へ取り込まれ浸透移行し、キク科・マメ科をはじめとした生育初期の一年生・多年生広葉雑草を防除できる薬剤です。

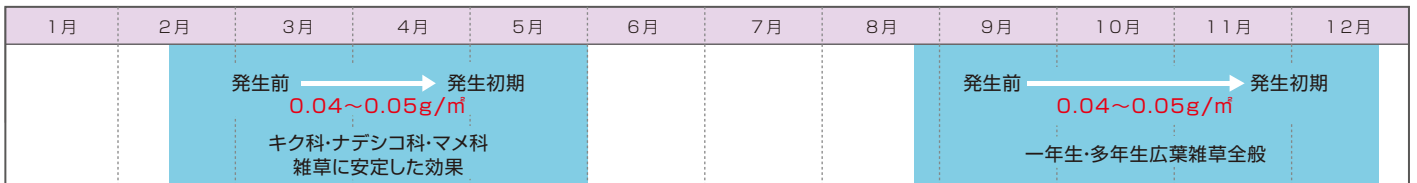
使用方法(登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量		本剤及びイソキサベン及びフロラスラムを含む農薬の総使用回数	使用方法
			薬量(g)	希釈水量(l)		
日本芝 西洋芝 (ブルーグラス)	一年生及び 多年生広葉雑草	芝生育期 (雑草発生初期)	30~50	150~200	2回以内	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布

上手な使い方

雑草発生前から本葉が展開し始める生育初期(2~3葉期)での使用で、最も安定した効果を発揮します。

推奨薬量 ■ 散布適期



適用雑草

除草効果(残草率%) ●:極大(0%) □:中(11~30%)
 ◎:極大(1~5%) △:少(31~50%)
 ○:大(6~10%) -:試験例なし

雑草名	土壌処理	茎葉処理	雑草名	土壌処理	茎葉処理
ヒメジョオン	●	●	クローバー	○	□
ハルジオン	●	●	ウマゴヤシ	-	□
オオアレチノギク	●	●	ハコベ	●	●
ヒメムカシヨモギ	●	●	オランダミナグサ	●	●
ブタクサ	-	●	ノミノフスマ	●	●
ノボロギク	●	●	ツメクサ	●	●
オニタビラコ	□~○	●	ナズナ	●	●
マメカミツレ	●	●	タネツケバナ	●	●
ハハコグサ	△~○	△~○	ヤエムグラ	●	●
ウラボシチコグサ	●	●	カタバミ	●	□
タンポポ	●	○	イヌタデ	○	○
ブタナ	●	△~○	ホトケノザ	●	□
ヨモギ	○	●	オオイヌフグリ	●	△
ノゲシ	-	●	タチヌフグリ	●	△
アキノノゲシ	-	●	トキワハゼ	●	△
ヤハズソウ	□~○	△~□	オオバコ	○	△
カラスノエンドウ	●	□	コニシキソウ	●	△
			チドメグサ	○	△

使用上・安全上の注意

- 本剤はイネ科雑草およびヒメクグ、ハマズメには効果がないので、これらの雑草の優占圃場ではそれらに有効な処理剤との体系で使用してください。
- 周辺の草花、樹木などに薬剤がかからないように注意してください。
- 薬液調整後はできるだけ速やかに散布してください。
- 雑草発生初期(本葉3葉期まで)に使用してください。
(生育の進んだ雑草には効果が劣ります)
- 本剤は遅効性なので、雑草が完全に枯れるまでに春夏期で2~3週間、秋冬期で4~6週間程度かかります。(まき直しはしないでください)
- 本剤は少量でも強い除草効果を示すので薬剤散布後は散布器具やホース内に薬液が残らないように十分に洗浄してください。
- 降雨が予想される場合は使用を避けてください。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使い切ってください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さないようにしてください。
空容器等は環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、できるだけ病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は施設内外に放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

供給元

ダウ・ケミカル日本株式会社
 ダウ・アグロサイエンス事業部門 営業本部
 〒140-8617 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー
 URL <http://www.dowagro.com/jp/>

取扱

本資料は2013年1月現在の知見に基づき作成されています。